

学校再開！

5月19日からの分散登校、25日からの午前中授業を経て、6月1日から通常授業が再開しました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染の心配がなくなったわけではありません。今後も学校施設の消毒や生徒の健康観察、授業中の学習形態の工夫など、学校生活全体での感染症防止策を行いながら教育活動を行って参ります。

また、日頃から手洗い（**必ずタオルハンカチ類を持たせて下さい**）や咳エチケット、マスクの着用、トイレ使用の仕方などと併せて、適度な運動や食事、休養や睡眠など調和のとれた規則正しい生活習慣を続けることが健康を維持して感染防止につながります。

ご家庭でも、感染防止に対するお子様へのお声かけをしていただくとともに、お子様への**毎朝の検温への働きかけや風邪症状の確認**をしていただきますようお願いいたします。また、発熱や咳・のどの痛みなどの風邪の症状、体調不良が見られた場合は、登校せずご家庭で休養を十分取らせてください。同居のご家族の方が体調が悪いなどを含めて、何か変わったことや気になることがあれば学校にも連絡をいただけるよう、よろしくお願ひします。

また、新型コロナウイルス感染症への不安から**特定の人や地域を対象とした差別や偏見、医療従事者や濃厚接触者、感染者だけでなく、その家族に対する誤解や偏見に基づく差別は決して許されません。**新型コロナウイルス感染症は、飛沫感染又は接触感染による感染です。悪い情報ばかりに目を向けて、差別的な言動に同調することなく、正しい情報を得ることが**差別や偏見をなくし、**新型コロナウイルス感染症への不安を解消することになります。ご家庭でも、お子様と新型コロナウイルス感染症に関連する差別や偏見についてお話しいただき、ともに安心・安全に生活できる地域を目指していきましょう。

学校での感染症対策

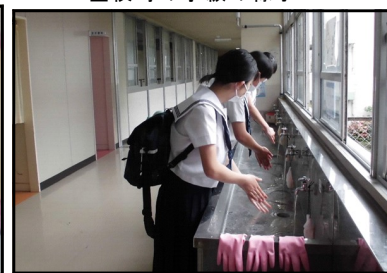
○生徒の登校前から、各教室の換気を良くするために、教室の両側の窓と廊下の窓を開けています。

登下校の際には、1年生は通常の階段、2年生は講堂側階段、3年生は手洗い場と導線を決めて、登下校の密集を避けるようにしています。



登校時の学級の様子

○サーマルカメラで全生徒の体温チェックを行うとともに、教室に入る前に手洗いを行い、ご家庭で検温した健康観察表の提出を行っています。検温をしていない生徒は、教室横学習室で検温し、自分の健康状況を確認させています。



登校時の生徒の様子

○通常の清掃を行うとともに、普段から生徒が触る箇所については、洗剤希釈液を水で薄めて清拭しています。特別教室については、授業終了後に机、イスなどの清拭を行っています。授業に必要な教具は教師で消毒を行ってから活用しています。



生徒の清掃の様子

学校行事について

6月は教科指導を中心に教育活動を行っています。昨年度6月までに行っていました健康診断や定期考査、3年生進路説明会、生徒総会などにつきましては、方法や時期について調整をしています。

6月実施予定の主な行事

8日（月）～衣替え	11日（木）2年デートDV防止教室
12日（金）生徒会全専門委員会	
19日（金）安全の日	26日（金）生活点検

なお、夏季休業期間が次のように短縮されますので、お知らせします。

夏季休業期間 8月8日（土）から8月23日（日）まで
1学期終業式 8月7日（金） 2学期始業式 8月24日（月）

休業明け学習に対する心構え

2, 3年生については、3月に学習内容が終わらなかった教科は、前学年の学習内容の続きから授業を進めていきます。また、3月は「1年間の学習の復習」を行うようにしていましたが、その分が休業期間中の学習プリントとなりました。

このような状況の中ですので、授業の進度が少し速くなっていきます。学習内容を理解するためには、予習が大切になります。

次に学習する内容をあらかじめ知っていれば、心構えができます。「先生の話していることは、教科書のここに書いてあった。」「その内容は、予習したけど分からなかった。」など、前もって知っていることやわからなかったことを知るだけでも、学習に対する心構えができ、学習の理解に結びつきます。

また、学習内容の振り返りを行うときに大切なのは「今日のめあて」です。

○めあてが、知識を得るためのものなら、今日の学習を通して、覚えたことと覚える必要があるものをノートにしっかり書いておき、家庭学習で確認することが大切です。

○めあてが、技能を身に付けるものなら、技能を身に付けるための手順や要領をまとめておき、家庭学習で再度やってみることが大切です。

○めあてが、表現の仕方や考え方を身に付けるものなら、授業中にその表現方法や考え方の基本や特徴をしっかりとまとめておき、家庭学習で確認することが大切です。

めあてから、学習内容の大切なポイントを見つけて家庭学習で確認する。ことが、さらに学習内容の理解を深めていきます。

一日に、予習して復習する時間までではない、と思われるかもしれませんが、復習をするのはその教科がある前の日にすれば復習と予習両方できます。内容を理解している教科は、短時間して分からなかった教科を重点的に行くと、時間を有効に使えます。復習しても理解できない内容は、翌日、先生や友だちに質問しましょう。

ぜひ、実践してみてください。